

Q：資料の中に絵図や写真がありますが、これらを授業の中で利用する場合、どのように扱えばよいのでしょうか。児童への資料の提示の仕方・絵図や写真の読み取り方についてどのように指導すればよいか教えてください。

A：教科書の資料の中で絵図や写真は、学習を進める上で重要な資料として載せてあります。3年生の頃から絵図や写真の読み取り方をきちんと身に付けさせるため、指導を積み重ねていく必要があります。

授業の中で、自由な発言を促すため、「この資料（絵図・写真）からどんなことがわかりますか。どんなことでもよいので発表しましょう。」といった教師の発問が見受けられますが、かえって、児童の発言内容が拡散してしまい、話し合いが深まりません。どこに注目するのか示す必要があります。

<資料（絵図や写真）の提示の仕方>

拡大する 気づいたことを発表させる際、資料を拡大したものを用意し利用することで、どこのことについて発表しているのかを注目させることができます。拡大印刷物の掲示、電子黒板（実物投影機＋電子黒板）やプロジェクタ（実物投影機＋プロジェクタ）での投影で行うことができます。

比較する 変化前の様子を表した資料と比較することで、「ちがうところはどこか」「似ているところはどこか」など視点をはっきりさせることができます。
例．6年歴史

「米づくりが広まったころの様子」の絵図を提示する場合、前時で学習した「狩りや漁をしていたころの様子」の絵図と比べることで、衣食住の様子の変化に着目することができます。

印刷する 教科書や資料集に掲載された資料を利用する場合は良いのですが、それ以外の資料（絵図・写真）を利用する場合は、全員の児童の手元にあった方がよいでしょう。近くに置いてじっくりと観察させたり、必要な場合は印をつけるなど加工なども行うことができます。

<絵図や写真の読み取り方>

①何を表している絵図（写真）なのか表題を読んで確かめる。

②全体を見る

・写真を見て気づいたことや気になったことをノートに書き出す。（このときは、気になったことはどんなことでも自由にメモする。多い方がよい。）

③詳しく見る。

・特に気になったところは、じっくり見て印を入れる。

じっくり見るとは・・・時代（年代）、季節、時間、五感（色、香り、音、味、触）などを想像してみる。

④写真を見て思ったことや疑問があればノートにまとめたり発表したりする。

⑤絵図（写真）の中の人々の気持ちを想像する。